



西宮浜義務教育学校運営の基本コンセプトの取組状況と今後の方向性

9年間を見通し、4-3-2という学年ブロックごとに校訓を基にした目標を設定し、発達段階に即した指導を実現

せかい（国際性・言語力）

国際的な視野に立ち、様々な人々と協働する力を育む教育を行う。

【現状・短期的取組】

- ◆台湾のビクトリア小学校と Skype を用いての交流
- ◆1～9年生までの外国語の年間カリキュラムを作成
- ◆ALT 教員を年間通して配置
- ◆中学校教員が5,6年生の英語の授業を担当
- ◆県立国際高等学校との連携・協力



【中・長期的取組・展望】

- ◇国際交流を通じたグローバル人材の育成
- ◇プログラミング教育の系統的なカリキュラムを作成し、論理的思考を育成



学校教育目標 : よりよい未来を切り拓く児童・生徒の育成

校訓 : 自立 協働 創造

先進的な取組（総合教育センターとの連携を含む）

(1) ICT の効果的な活用

- ・全市展開に先駆けて5,6,7年生へタブレット端末（よりハイスペックなもの）を配備し、先進的な取組の推進
- ・子供一人ひとりの得意、不得意に応じる個別最適化された学習の実現

(2) 授業力・教育力の向上

- ・指導主事および主任研修指導員による日常的な授業参観や指導、振り返り
- ・教科ごとにタブレット端末を効果的に用いる授業研究を指導主事と共に実施

(3) 大学との連携

- ・兵庫教育大学：ICT 活用研修会の実施
- ・神戸女学院大学：放課後学習「のびのび教室」への協理科実験教室・環境教室の実施
- ・武庫川女子大学：総合的な学習の研究
「こころん・サーモ」による子供の心理状態の把握



じぶん（キャリア発達・人権感覚）

主体的に人生や社会を生きていくために必要な資質・能力を身に付ける。

【現状・短期的取組】

- ◆既存の取組(マリナフレンズ)に加え全校集会や期別集会を通して異学年交流を推進
- ◆総合教育センターとの連携による、主体的・対話的で深い学びを進めていくための授業改善（ICT 機器の活用）
- ◆トライやる・ウィークと連携し、多様な職業の人から話を聞く機会を設けるなど、キャリア教育の充実
- ◆5,6年生による部活動への体験的な参加を通じた主体性の育成

【中・長期的取組・展望】

- ◇多様な学びから生まれる、多様な進路先の選択

ふるさと（郷土愛・つながり）

西宮浜や西宮の特徴を知り、活用し、地域に誇りと愛着を持った子供を育成する。

【現状・短期的取組】

- ◆海や浜を生かした活動（SUP・クルージングによる街の観察）
- ◆トライやる・ウィークにおける地域防災の取組
- ◆メモリアルスペースの設置（学校図書館と共に地域へ開放）
- ◆9年間の縦断的かつ教科横断的なカリキュラムの作成



【中・長期的取組・展望】

- ◇ふるさとをテーマとした探究的な学習により、環境や防災の観点から地域社会を考える

その他の特色ある取組

(1) 学校図書館の充実と地域開放

- ・学校司書を配置し、発達段階に応じた蔵書を充実させ読書に親しむ環境を整備
- ・10/2 より前期校舎の学校図書館を地域に開放するとともに、図書館端末を設置し、市内図書館の蔵書の貸し出しを実現



(2) 子供一人ひとりを大切に

- ・生徒指導主任、特別支援教育コーディネーターを中心とした支援体制の確立
- ・新たに相談室を設置し、子供の居場所づくりときめ細やかな支援

(3) コミュニティスクールとして

- ・令和2年度にパイロット校として学校運営協議会を設置し、学校、家庭、地域が協働しながら子供たちの成長を支援